

馬頭最終処分場 事業実施のための 環境影響評価

栃木県では、最終処分場の設置が周辺環境にどのように影響を及ぼすかを予測・評価するため、今年4月から環境影響評価を実施しています。

その予測・評価を行うためには、環境の状況を把握する必要がありますので、現在備中沢及びその周辺において環境調査を実施しています。

今回、環境調査のうち夏季調査結果がまとまりましたので、そのあらましをお知らせします。

環境現況調査の結果(夏季)

大気

窒素酸化物、浮遊粒子物質を調査した結果、両項目とも環境基準値を下回っていました。

水質

平常時の河川流量を測定した結果、備中沢下流部で275m³/日、小口川下流部で14,500m³/日となりました。

植物

114科477種の陸上植物、水生植物が確認されました。このうち国のレッドデータブック等に該当する貴重種(以下、貴重種)はミヤマウラジロ、ミクリなどの7科11種でした。



ミヤマウラジロ

動物

30目144科359種の動物が確認されました。このうち貴重種はミサゴ、トカゲ、ウラギンスジヒョウモンなどの12目27科43種でした。



ミサゴ



トカゲ



ウラギンスジヒョウモン

景観

搬入道路予定地と最終処分場予定地の現況を把握しました。

お問い合わせ先

- 栃木県 生活環境部 環境局 環境整備課 TEL 028-623-3227
- 那珂川町 環境整備対策室 TEL 0287-92-1110